

柏市日本舞踊連盟

市山 松十郎
(柏市日本舞踊連盟会長)

昭和38年頃より、柏市在住、在勤の日本舞踊家の親交が由来、文化連盟より部門別の組織作りの要請を受け、柏市日本舞踊連盟を創立、初代市山松十郎が会長となり、その記念発表会を昭和48年12月に、柏市民文化会館大ホールにて開催致しました。

初代会長没後、柏市日本舞踊連盟主催の発表会は、柏市民文化会館大・小ホール、アミューゼ柏クリスタルホール、と回数を重ね、本年は第10回記念舞踊公演を11月26日(土)に予定しており、さらに各先生方との交流も盛んになり、柏市文化連盟行事でもあります。芸能鑑賞会、柏市文化祭、東葛飾文化祭、そして柏市民芸術祭においても、色々な企画、試みで臨んでいます。ただ今は、二代目市山松十郎会長のもと、西川流4団体、花柳流3団体、藤間流3団体、吉村流1団体、市山流2団体で、会員数は約50名です。



柏市吟詠剣詩舞協会

中西 康神
(柏市吟詠剣詩舞協合理事長)

柏市吟詠剣詩舞協会は、1972年(昭和47年)柏市吟詠協会として発足しました。

当協会は、現在、詩吟・詩舞・剣舞の15団体で構成されており、約300人の会員を有しています。毎年春には、全団体参加の柏市吟詠剣詩舞大会を開催し、高い評価を得ています。当大会も平成28年で44回を迎えます。

今後の抱負について「時代の流れと共に、新風を取り入れながらも、良き器は破壊することなく、大切に守ってゆきたい。次世代の青少年を大切に日本の誇る伝統芸能を継承してゆきたい」。また、秋には柏市の文化祭に参加して、地域の文化発展に尽くしています。



編集後記

「柏の城跡をたずねて」という企画も今回が最終回となりました。皆様楽しんでいただけましたでしょうか。

中村 洗扇

柏陶会

村田 悟
(柏陶会会長)

昭和53年4月15日、第1回陶芸講座が柏寿荘で開講され、講座終了者22名で陶芸サークル「柏陶会」は創設されました。平成2年3月、柏市文化連盟に加盟、以後柏市文化祭に参加しております。現在130余名の会員が、健康増進と親睦の充実を目的とし且つ技術の向上を図るため、和やかに楽しく作陶に励んでいます。

また、柏陶会展示会(そごう柏店8階)、柏市文化祭(柏窯会合同)展示会、柏寿荘まつり展示会、柏陶会勉強会、部外講師による勉強会等を開催し、更なる陶芸技術の向上と、地域とのふれあいを大切に、これからも活動して参ります。



おめでとうございます

○柏ウインドシンフォニーが4年連続金賞

千葉県吹奏楽コンクールで
平成27年8月9日に行われた第57回千葉県吹奏楽コンクールの職場・一般C部門で、柏ウインドシンフォニーが金賞を受賞。これで4年連続金賞を受賞されました。

「日々是好日」のテーマ

第7回文化講演会決まる



柏市文化連盟主催の第7回文化講演会は、平成28年1月29日(金)に、「日々是好日」(毎日楽しく過ごす生活を)のテーマで、アミューゼ柏プラザで開催することになりました。

講師は布施弁天(紅龍山東海寺)住職の下村法之先生。

先生は1975年、茨城県板橋不動院の三男として生まれ、大正大学で仏教を学びました。大学卒業後、真言宗豊山派総本山長谷寺で修行。2006年3月に入山し、同年5月同寺住職になりました。

講演会の受講対象は柏市在住または勤務の方。申込みは別途往復ハガキで申し込むことになります。(写真は下村先生)

織物の町「桐生」で藍染体験

平成27年度スタディーツアー

企画委員が企画した平成27年度スタディーツアーは、11月29日・30日の二日間、35名が参加して群馬方面に旅行。

初日は「日本シャンソン館」や「竹久夢二記念館」などを見学。二日目は織物の町・桐生でノコギリ屋根工場群を見学し、藍染の体験もしました。(写真は藍染体験のもよう)



柏の樹



第22号

発行: 柏市文化連盟 編集: 柏市文化連盟広報委員会 事務局: 柏市酒井根4-6-1 鈴木方 ☎04-7172-6759
柏市文化連盟創立: 昭和34年(1959年) <http://kashiwa-bunka.net>

平成28年(2016年)
1月1日

柏市内各所で秋を彩る文化行事



第62回 柏市文化祭 柏発 輝く文化 世界へと





柏市文化連盟会長
鈴木 将勝

文化の町「柏」構築を

新年明けましておめでとうございます。本年も昨年に増して市民の皆様との交流の輪を広げ、さらなる文化の活性化に努力していきたくて思っております。よろしくお願い申し上げます。

さて昨年の10月柏市におめでたいお話がありました。東京大学柏宇宙研究所所長の梶田隆章先生のノーベル物理学の受賞であります。まさしく世界に発信する学術都市としての「柏」の知名度はアップしたと思います。

また最近学生さんの音楽の実力は全国トップレベルに達し、特に吹奏楽においては小・中・高校と全国での金賞常連校となっておりますが、この子どもたちの成長の過程に学校中心にいろいろなジャンルを超えた街の支援があると思っております。

文化連盟会員もこのような街の芸術、文化の発展構築には全面的に支援し、明るい文化の柏市に貢献したいと思っております。

最後になりますが本年も賛助会員の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

平成27年度柏市文化連盟 賛助会員のご紹介(新たな方々)

団体名・役職	代表者名
柏市議会議員	阿比留善顯
柏市議会議員	岡田智佳

新 役員のひとこと

文化連盟のため、全力で頑張ります

平成27年5月に、前監事の田中嶽蟬さんが亡くなり、急遽、監事に任命されました阿部榮寿でございます。

監事とは、どのようなことをするのか、規約集を開いて見ました。「監事は、連盟の会計を監査するとともに、総会・役員会及び理事会において、意見を述べることができる。ただし、いかなる会議においても表決権は有しない。」とありました。何はともあれ、引き受けたからには、柏市文化連盟発展のため、全力で頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



監事
阿部榮寿

新企画 柏の城跡をたずねて

最終回

手賀城跡

—千葉氏系統の原氏の堅固な城跡—

城の形態は、手賀沼を北に見下ろす台地に築かれた平山城です。

城郭全域が宅地化しているため、土塁や空堀などの築城遺構は主に北側に残っているだけですが、本来は手賀の集落全域が城郭を形成していたものと思われます。

手賀地区に入ると城跡への真直ぐな道は一本も無く、道幅は狭く曲がりくねった所謂クランク状の道が多いことに気付きます。これは南から外敵を容易に進入出来ないようにする防護策で戦国時代や近世の城下町によく見ることが出来ます。本丸跡と称される郭は、隣接する興福院の北側に位置し現在は野菜畑で北寄りには手賀の伏見稲荷神社が有ります。

手賀沼に面した台地緑部は急な崖をなしており、まさしく「城壁」で沼側からは城を攻撃する事は不可能であり守備は堅固なものでした。

従って、箕輪城跡と同じように水上からの攻撃の防御や水上交通の監視と言った役割が考えられます。



眼下に手賀沼を望む

柏市内に於ける中世城館跡は、旧沼南地区で10箇所、旧柏地区で数箇所ですが消滅したものを数えると20箇所以上ありました。旧柏地区では松ヶ崎城跡、増尾城跡、戸張城跡、高田城跡、大室城跡(現・自衛隊教育訓練場敷地・高城氏支配下で常陸川/現・利根川を挟んで守谷相馬氏と対峙)、幸谷城跡などであります。いずれも全て中世から戦国時代後期までのものに限られ江戸時代のものはありません。

戦国時代後期、天正18年(1590)豊臣秀吉により小田原城が落城し、北条氏が滅亡すると共に北条方に付いていた東葛地区の城館は廃止され、その役割も終わります。約10箇所の我孫子の城館も同じ歴史を辿ったとの記述が有ります。

考察として、野田市内の後に復元された関宿城跡(天主閣)は例外として、東葛地区での中世の城跡は都市化の波による宅地開発で台地の削平が進み既に遺構が失われてしまっています。

(河村)

満員の観客が参加して 第62回 柏市文化祭 オープニングセレモニー



「柏発 輝く文化 世界へと」のキャッチフレーズで、第62回柏市文化祭は、10月10日のオープニングセレモニーを皮切りに、11月22日まで柏市内各所で多彩な文化行事が繰り広げられました。

アミューゼ柏クリスタルホールに満員の観客が参加して行われましたオープニングセレモニーは、キャッチフレーズの作者・鈴木和江さんなどが、鈴木柏市文化連盟会長から感謝状が渡されたあと、柏市立柏中学校吹奏楽部による吹奏楽、柏少年少女合唱団による合唱が華やかに披露されました。

(写真はオープニングセレモニーの様)

東大留学生に書道を教える 柏市書道協会が書道講習会

柏市書道協会は去る十月九日、連日のノーベル賞受賞に沸く東大柏の葉キャンパス図書館カンファレンスルームで、留学生二十一人を対象に書道講習会を行いました。

これは、日本文化紹介の一環として行ったもので、出席者の出身も中国、台湾、インド、ベトナム、マレーシア、インドネシア、タイ、ベルギー、ルーマニア、イギリス、トルコ、コロンビアと多彩でした。出席者は、流石にそれぞれの国を代表するエリートとあって、書に対する理解力、表現力も素晴らしく、指導する手間もあまりかかりませんでした。

私たち柏市書道協会が、このような講習会を行うのは、これで二回目ですが、受講者の日本に対する好奇心とそのパワーは並大抵ではなく、今後に大きく期待できるものを感じさせられました。

また、十月二十三、二十四日の二日間、オープンキャンパス(学園祭)が開催されましたが、その会場に講習会で学んだそれぞれの書が、実習風景とともに展示され好評を頂きました。(吉野)



文化庁主催事業 小中学校巡回公演

昨年の10月、11月と文化庁主催事業小中学校巡回公演(邦舞)があり、柏市立花野井小学校が選ばれ、10月28日(水)に、公演がございました。私の所属しております、公益社団法人日本舞踊協会の最も重要な事業の一つであり、千葉県下でも、柏市、船橋市、市原市の三市、四校のみで行われました貴重な公演でした。また、本公演の1ヶ月前に、各学校では、ワークショップも行われ、花野井小学校は、そのワークショップには、柏市教育長もお見えになり、生徒さん始め、先生方にも色々体験をして頂き、本公演は長唄『連獅子』という日本舞踊を、体育館に日本舞踊用の舞台を作り、生演奏での迫力の舞台で、花野井小の4年生から6年生と特別に、田中北小の6年生も参加され、感動して戴きました。(市山竹紫郎)

